



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2020年5月29日



同友会 シダレザクラ植樹



大星神社の樹齢350年を超えるシダレザクラ

組合員を対象に実施した新型コロナウイルスに関する緊急アンケート調査において、マスク確保に苦慮する声が多く寄せられていた。そこで、組合でマスクの調達を模索していたところ、組合員の協力を得て国産の高機能マスクを確保することができた。配付



マスクを私書箱に投函

組合では、新型コロナウイルスに対する支援策として、組合員及び団地内関連企業へ1社100枚ずつマスクを無料配付した。

新型コロナウイルス支援でマスク無料配付

も人との接触を回避すべく手渡しせず、組合会館の私書箱に投函する方法をとった。組合では今後も新型コロナウイルスに関する組合員へのサポートに全力を挙げて取り組んでいく。

大星神社にシダレザクラ植樹 同友会創立40周年記念事業

青森問屋町経営同友会（以降、同友会）が4月16日（木）に、問屋町に隣接する大星神社にシダレザクラの苗木3本を寄贈、植樹した。
同友会は組合員の若手経営者および後継者による異業種交流会で、1980年に発足し、2020年3月に創立40周年を迎えた。今回の植樹は

周年記念事業として実施され、当日は大星神社の工藤責任役員、苗木を提供した青森日本花の会の木村氏と大坂氏立ち合いのもと、同友会の一戸会長をはじめ役員5名が苗木を丁寧に植えた。
今回、シダレザクラの苗木を提供した青森日本花の会は、「桜の名所づくり」を進

北日本石油が問屋町で営業スタート

新規組合員の北日本石油（株）が問屋町内で進めていた青森販売支店の改修工事がこのほど完了し、営業を開始した。
同社はコスモ石油の大手特約店として、北海道・東北・関東エリアでサービスステーションを運営。また、給油船で客船やタンカーへのエネルギー供給を行うなど、陸上及び海上で石油製品の販売を手掛けている。
同支店では建物の老朽化が顕著となり、加えて狭隘化に



北日本石油が問屋町で営業開始

も苦慮し移転を模索。企業活動がしやすい環境で十分な広さも確保できることから団地内への移転を決定。物件を取得してリフォームを図り、オープンを迎えた。

第53回通常総会の開催方法や提出案件を承認 第1回理事会

2020年度第1回理事会が4月24日(金)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは新型コロナウイルス対策やマスクの無料配付などを報告した。

主な案件審議は次のとおり。案件一、事業委員会からの意見について

案件二、労務対策委員会からの意見について

案件三、組合員の脱退及び新規組合員の加入について

案件四、組合員施設の賃貸に

2019年度の問屋町内交通事故は自社敷地内で数多く

交通事故実態調査

青森交通安全協会問屋町支部が会員を対象に実施した2019年度の交通事故実態調査結果がまとまった。

全144社から回答を得た調査の結果、無事故(加害事故ゼロ)会員数は121社、84.0%と昨年度の80.3%を上回った。加害事故件数は55件と前年度の61件より減少。被害事故件数も22件と前年度の46件から大きく減少した。

加害事故要因についての調査では、「前方不注意」が23件と事故全体の42%を占めて最多。また、事故発生時期に



2019年度問屋町内事故発生箇所



問屋町会館前交差点で発生した交通事故

2019年度の調査では、12月〜3月の冬期間に26件の事故(加害・被害)が発生。例年、冬期間の事故発生件数は全体の5割以上を占めていたが、2019年度は少雪のためか3割程度にとどまる結果となった。

問屋町内での事故発生箇所については、6件中5件が自社敷地内での事故との回答が寄せられた。

同支部では、今回の調査結果を問屋町内の交通事故防止に活かし、「問屋町内交通死亡事故ゼロ9千日達成(達成予定日:2022年6月18日)」を目指す。



ゆうプリタッチ

宛名書き不要 ゆうプリタッチ設置 問屋町会館内にある青森問屋町簡易郵便局では、4月から「ゆうプリタッチ」の取り扱いを始めた。

また、e発送サービスやゆうパックスマホ割アプリを利用した場合の支払は各アプリサイトでの決済となり、商品発送時の現金支払いの手間を省くことができる。

案件五、組合員跡地買取資金の借換について

問屋町内の2019年度ごみリサイクル回収率が65.6%と、例年通り高いリサイクル率を維持した。

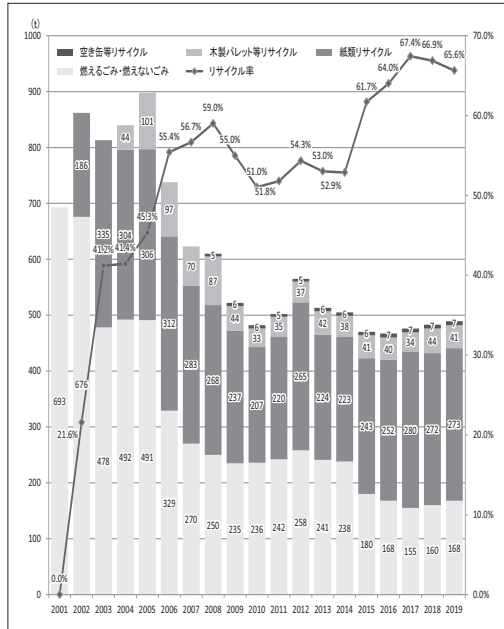
組合では一般ごみの個別収集に加え、紙類や空き缶、ペットボトル、木製パレット、パソコン、蛍光灯などのリサイクル回収にも取り組み、組合員の企業活動をサポートしている。

青森県のリサイクル率は14.5%(2018年度)で全国42位と低い順位となっているが、近年の問屋町では排出されるごみの6割以上がリサイクルされ、高いリサイ

2019年度も高いリサイクル率を維持

クル率を誇る。組合では今後も企業の社会的責任を果たすため、本県の

リサイクル率向上に寄与すべくリサイクル回収事業の推進に努める。



リサイクル回収実績 (2001年度~2019年度)

Advertisement for Bunmei Co., Ltd. (株式会社 ブンメイ) featuring tools and machinery. Address: 青森営業所 〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目10-18. Tel: (017) 738-6111 (代) Fax: (017) 738-3513.

Advertisement for Maru Uchi no Co., Ltd. (丸大堀内株式会社) featuring food products. Address: 〒030-0131 青森市問屋町2丁目15番22号. 電話 017-738-4311.

2020年度 問屋町会館開催 健康診断日程

	開催日時	実施団体
第1回 集団健康診断	6月 9日(火) 8:30 10日(水) 〃 11日(木) 15:00	(一社) 青森地区 労働基準協会 (一財) 全日本労働福祉協会 青森県支部
問屋町地区 健康診断	6月23日(火) 8:30 7月 7日(火) 〃 8月 5日(水) 11:00	〃
第2回 集団健康診断	10月 6日(火) 8:00 7日(水) 〃 8日(木) 〃 9日(金) 12:00	(公財) 青森県総合 健診センター

※協会けんぽの生活習慣病予防健診を受診できるのは下記の日程のみとなります
6月9日(火)、7月7日(火)、8月5日(水)、10月6日(火)

受診内容

- ① 法定一般定期健康診断
 - ② 生活習慣病予防健診
(胃がん・大腸がん検査)
 - ③ 採血による腫瘍マーカー検査
- ※新型コロナウイルス感染症状況により、集団健康診断の実施を中止することがあります。

協青森総合卸センター
新規採用職員のお知らせ

▽新規採用
総務部総務課 葛西友紀
(4月1日付)

業務報告

主要事項

- 4月
- 9日▽第1回問屋町合同清掃
- ▽第1回事業委員会
- 14日▽金融審査会
- 16日▽第1回労務対策委員会
- ▽問屋町経営同友会大星神社しだれ桜寄贈・植樹
- 17日▽第1回三役会
- 20日▽監査会
- 24日▽第1回理事会
- ▽卸センター(株)第1回取締役会
- ▽青森問屋町配送(株)第1回取締役会

経済雑感

第一〇五回

(株)商工組合中央金庫青森支店 支店長 崎野 真次

前号に引き続き、(株)商工組合中央金庫青森支店の崎野支店長による経済雑感をお送りする。

最近、新聞や雑誌等で「事業性評価」という言葉を耳にされることがあると思います。金融庁の金融モニタリング(監督・検査)で「事業性評価に基づく融資への取り組み内容」が重点項目として定められていること、従来の収益構造を変え、新たな収益源を確保することを目的に、多くの



(株)商工組合中央金庫 青森支店 支店長 崎野 真次 氏

金融機関が「事業性評価」への取り組みを強化していることから、近時着目されております。「事業性評価」とは財務データや担保・保証に必要以上に性を適切に評価することです。

これまで金融機関が企業を分析する際は、財務諸表(決算書)という結果に基づき、分析に重きが置かれており、事業内容・成長性にはあまり踏み込んだ調査・分析が行われてきませんでした。一方、企業を取り巻く環境は目まぐるしく変化してお

り、経営課題も多岐にわたります。例えば、「過当競争構造」に陥っている企業では業界再編や新市場進出ニーズが、「事業承継問題」を抱える企業では単純な家族承継だけではなく、M&Aや企業グループ再編などのニーズが見込まれます。しかし、金融庁が2018年10月に発表した「企業アンケート」では、

7割の企業が自社の課題を解決するための人材が不足していると回答しています。つまり、自社では課題を解決できない現状があります。これからの金融機関は、企業の課題をしっかりと見極めら

れる事業性評価に長け、課題に対し、「良きアドバイザー」であるとともに具体的な取り組みを実行でき、ブレない姿勢で「長期的な伴走支援」ができること、そして、このような課題解決スキル、企業を想うハートを持った営業マンがどれだけ多くいるか、こういった営業マンが「力を発揮できる環境・組織」が構築できるかが、生き残りのカギになるのではないのでしょうか。

このような視点で金融機関を見ていただくと、金融機関に対する見方が変わるかもしれません。我々も期待に応えられるよう、全力で取り組んでいきたいと思

Total assist 東京海上日動の自動車保険

あなたの大切なドライブのそばに。

東京海上日動 青森中央支社 To Be a Good Company

青森市長島2-19-1 青森東京海上日動ビル2階 〒030-0861
お問い合わせ先(TEL):017-775-2424

暮らしと住まいの総合商社

東栄株式会社

東北支店
TEL (017) 762-3316
住設事業部 青森営業所
TEL (017) 762-3503
青森市第二問屋町3丁目3番42号

雑貨のあるガーデンショップ

Leaf

リーフ (by だいいちぞうえん)

エクステリア設計(CAD)・施工・管理
青森市大字荒川字柴田60-11 TEL 017-718-7830

■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売

ミリオン株式会社 営業時間 平日:月~金曜 AM9:00~PM6:00
定休日 土・日・曜、祝日

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6 0120-404-303
TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881

ミリオン健康ランド <http://www.t-mirion.co.jp/>

オリジナルサプリメント製品をデザイン設計から製造まで一貫して行います。試作・小ロット・大口まで対応。

お気軽にご相談ください。

今年も合同清掃スタート

問屋町合同清掃の今年度1回目となる活動が4月9日(木)に行われ、組合員及び近隣企業193名が参加した。問屋町の組合員は問屋町会館、第二問屋町は青森産業会館に集まり、朝8時から20分程度、雪解け後に現れた大量のごみを拾い集めた。今回は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、初回の通例となっていないあいさつは省略。受付も屋外で行い、参加者には手指の消毒を行ってから清掃活動を始めてもらうなど対策を講じて実施した。



コロナウイルス感染予防で屋外で受付

景観が大きく向上。活動の様子は新聞やニュースにも取り上げられた。問屋町合同清掃は4月から10月までの毎月第2木曜日に実施し、年7回開催のうち5回以上参加した企業には功労賞を贈る。また10年連続功労賞受賞企業には10年賞を贈呈し、組合員新年会で表彰する。組合では今後も組合員及び近隣企業の協力のもと、問屋町の景観美化推進に取り組んでいく。

団地内の芝桜が咲き誇る

5月に入り、問屋町大通りに組合が植栽している芝桜が今年も見頃を迎えた。問屋町の中央分離帯ではピンク、紫、白の芝桜が、第二問屋町の歩道にある街路樹樹下ではピンクに統一して植栽された芝桜が見事に咲き誇る。問屋町を明るく彩る芝桜は、行き交う市民の目を楽しませた。



春の訪れとともに問屋町を明るく彩る芝桜

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、丸井産業(株)青森営業所の白井所長にお話を伺った。

同社は建設・設備・電設パーツの総合メーカーとして、資材の製造から販売、配送まで一貫して行っている。昭和33年に広島県で創業して60年余りとなる現在は、全都道府県に営業所を設け、全国に72営業拠点を展開している。身体に障害のある方々を支援する雇用・生産体制もいち早く導入し、社会の発展に貢献する企業として百年企業を目指している。

「当社はメーカーと商社の双方を兼ね備え、建設・設備・電設工



丸井産業(株) 青森営業所 所長 白井 雄真 氏

事合理化を推進し、品質の向上、コストの低減、新商品の開発に日々取り組んでいます。現在工場と物流センターは広島にありますが、朝発注すると翌日の昼には青森に入荷します。待たせることなく臨機応変に商品を提供できることが当社の強みです」とアピール。青森での自身の目標について尋ねると「知名度アップとシェアアップです。当社のことを知らない地元業者が多く衝撃を受けました。今後地元業者様とのように繋がりを作っていくのが課題です。商業施設の建築などは色々な工法ややり方があるので、全国に営業

を伺うと「今年の1月から青森に来

利用してもらいたいです。また、青森営業所は営業マンが不足しているので、人員も拡充してしっかり営業できる体制にしたいです」と語る。仙台出身の白井所長に青森の印象

(28歳)

編集後記

このたび組合では、組合員の皆様のアンケートでマスクの要望が切実だったことから、4月に組合員並びに団地内関連企業へ一社百枚を配付しました。また5月には、総会が書面出席方式となり懇親会も開催できなかったことから「マスク+アルコール消毒液の全組合員への配付」に代えさせていただきます。上掲載のとおり、コロナ禍の中、合同清掃に、望外にも193名の皆様が御参加いただき、誠にありがとうございました。先号に続き、タナベ経営が発信したコロナ対策「KRI」を設定しコロナリスクをマネジメントせよ」から有益と思われるポイントをご紹介します。▼KRI (Key Risk Indicator) は「重要リスク指標」と呼ばれるリスクマネジメントの指標です。▼倒産リスクを抑えるという観点からはキャッシュリソースの軽減が最優先で、その測定は次の三つを管理すべきだそうです。①キャッシュ保有対固定費月数、3〜6ヶ月程度のポリシーームを把握、早期の資金確保。政府の緊急対応融資などの活用や、人員の見直し、固定費の圧縮などが有用。②操業度(売上等)前年比、操業度(売上等)前年比ですが、売上以外にも販売数や稼働率など業種ごとに重要な指標を前年比較。③損益分岐点操業度、一般的に損益分岐点操業度は70%を下回っていれば、経営の安全性は高いレベルで担保されています。コロナ禍においてはこの損益分岐点操業度の管理こそが重要です。▼次に、財務リスクです。財務リスクは「資金調達可否」のリスクとも言えます。財務リスクの測定においては①自己資本比率、②経常利益増減率が主なKRIだそうです(藤本)

建設工事の合理化を実現する

MARUI

丸井産業株式会社

〒030-0131
青森県青森市問屋町二丁目11-6
TEL 017-753-0101 FAX 017-728-0101



RAB開発株式会社

建築設計・監理 / 環境整備計画コンサルタント
情報設備・通信システムの企画、設計、施工
博物館・資料館等展示設備の企画、設計、施工

青森市第二問屋町3丁目2番35号
TEL 017-739-1666 FAX 017-739-1664 <http://www.rabkaihatu.co.jp>